

ドライブレコーダーを用いた高齢ドライバーの運転行動に関する実証実験

■ 実証実験の概要

近年、高齢ドライバーによる自動車事故は社会課題となっています。この実験では、高齢ドライバーの自家用車に AI 機能を搭載したドライブレコーダーを設置し、車外画像データを取得します。取得した車外画像データは走行中の車両データ及び車内画像データとともに統合的に分析し、高齢ドライバーの運転を評価します。さらに実験データをもとに高齢ドライバーによる運転行動の基礎データを構築し、車両開発、高齢者介護施設や販売店における高齢ドライバーを対象としたサービス開発を目指した研究に利用します。

■ 実証実験の共同実施者

北海道千歳リハビリテーション大学

千歳市介護予防センター

■ 実証エリア

主たる実施場所は北海道千歳市、苫小牧市、恵庭市、北広島市、札幌市の周辺地域ですが、参加者の運転範囲により変動します。

■ 取得するデータ

車両前方に設置したカメラより車外画像データを取得します。

■ データを取得する期間

2026 年 6 月～2028 年 5 月

■ 利用目的

1. 高齢ドライバーの運転行動基礎データに関する研究（車両開発、高齢者介護施設や販売店における高齢ドライバーを対象としたサービス開発を含む）に利用するため。
2. 当社の製品・サービスの品質向上及び研究・開発に利用するため。

■ 第三者提供

当社は、取得した車外画像データを北海道千歳リハビリテーション大学、千歳市介護予防センター及び社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団千葉県千葉リハビリテーションセンターに以下の通り提供します。

- 提供するデータ： 車外画像データ
- 提供先における利用目的：車外画像データを分析し、高齢ドライバーの運転行動に関する研究及び高齢ドライバーの運転行動基礎データに関する研究（車両開発、高齢者介護施設や販売店における高齢

ドライバーを対象としたサービス開発を含む）に利用するため。

- 提供方法：専用のシステムを介し、限定的に閲覧を可能にする形で提供

上記のほか、当社は、警察・裁判所・政府機関などからの強制力を伴う法的な要請に基づく場合に、第三者に提供することがあります。

■ データを保管する期間

取得後 2 年間

※取得した車外画像データのうち、今後の開発に必要となる一部のデータに限って、上記の保管期間を超えて保管・利用することがありますが、不要になった場合すみやかに削除いたします。

■ 個人情報保護・プライバシー尊重への取り組み

本取り組みで当社が取得する車外画像データには、歩道や道路脇を歩く人や、前方や隣接する車線を走行する車両のナンバーなどが映り込む可能性があります。トヨタはこの車外画像データを、個人情報として、個人情報保護法その他の関連する法律を順守して取り扱います。また、映り込んだ方のプライバシーを尊重するための取り組みを行っています。

当社は、映り込んだ方の個人情報保護・プライバシーの尊重のために、以下の対応をしています。

- 車外画像データの取り扱いに関する情報の適時適切な公表（本お知らせ）
- 車外画像データに対するアクセス制限やアクセスログの管理
- 車外画像データに映り込む人や車両のナンバーを個別に検索できない形式での保管
- 車外画像データに映り込んだ人や車両について個別に追跡したり、その行動特性や移動傾向などを分析したりすることの禁止

当社の取り組みについて、映り込む可能性のある皆様にご理解いただけるよう、これからも十分な説明や対応に努めてまいります。

（初版：2026 年 6 月 29 日）